

# SADAMISAKI HAPPY CYCLING MAP

Bird  
Wind  
Toudai  
Fusya  
Stone wall  
Sea  
Akoujyu  
Mikan  
Shirasu  
Hanaaji

## 佐田岬しあわせサイクリングマップ

たのしいときも かなしいときも  
自転車と風に乗れば  
しあわせに向かって行ける

**SADAMISAKI  
SHIAWASE PROJECT**

## しあわせ サイクリング

SADAMISAKI HAPPY CYCLING

長さ約50km、日本一長い佐田岬。宇和海と瀬戸内海ふたつの海にはさまれて、どこまでも青い空。山には、風車が悠然と立ち並ぶ。

佐田岬は最高のドライブスポットだけど、車で走るだけではもったいない。

自分のからだで風をきって、佐田岬の自然や人のあたたかさに会いに行けばしあわせに生きる力が身に付きそうな気がする。

## しあわせ Wind

佐田岬は、日本でも有数の風の強い地域！ 町の人たちは、激しい風と上手に寄り添う工夫をしながら生きてきた。追い風のときも、向かい風のときも、風を味方につけて。

**風から果樹園を守る**

伊方町の果樹畑には、強風から果樹を守る生け垣がたくさん。モノレール用のトンネルがあったり、まるで迷路！

防風垣

**風を感じるなら**

強風を利用し、風車が58基建てられている佐田岬。その巨大な風車群を見ることができるスポット。

風の丘パーク

**寒さをしのぐために**

厳しい寒さに負けないようにつくられた「裂き織り」の文化を学んだり、体験したりできる。

オリコの里

## Life しあわせの地を求めて

実は1ターン移住者が多い町・佐田岬。その魅力は一体何なのでしょう？ 移住者に尋ねてみました。

**花も人も、自然が整えてくれる**

高茂自然の庭 大利悦子さん

長年東京で働き、渡米経験もある大利さん。「畑仕事をしながら、海や温泉の近くで暮らしたい」と全国を探し、この地へ。現在、庭を自由開放し、希望者には自らガイドをしている。庭づくりは自然のままに。この地に合うものは育ち、合わないものは枯れていく。「自然に任せると、花も人間も整う」が大利さんの持論なのだ。ここに来ると、病気の人は元気に、元気すぎる人は大人しく！?なるから不思議。自分の中の自然を求めて、多くの人が訪れている。

庭の中にはベンチやブランコが用意してある。のんびり一日過ごす人も多いとか。

ヤマガラへの餌やり体験もできる。庭には巣箱や餌がたくさん。

## Sweets しあわせの赤あんタルトを探せ!

佐田岬は人口に対して菓子屋さんが多い。そしてなぜかタルトは赤あん。いざっ! しあわせSweets探し!

**金谷菓子舗の「秘伝あん」タルト**

390円

開業から90年味が勝負しとる。赤あんはお父さんが研究して完成したもの。手ば豆をつぶして練った、着色なしの秘伝あんこがよ。

金谷寅之助さん 清香さん

その他おすすめ  
ガス釜で焼き上げるカステラも好評!(700円)

**米田本舗の「味わい」タルト**

400円

白あんを食紅で染めた、しっとりとした味わいが特徴。糖度を落とし、口ざわりのよい赤あんタルトです。

米田勝彦さん

その他おすすめ  
伊方みかんのエキスをふんだんに使ったおまんじゅう「伊方まつり」(300円)

**田村菓子舗の「あながなつ」タルト**

390円

初代から変わらない味。うちのあんこは、北海道産手ば豆を練り上げ、再加熱します。だからこそあながなつ(甘すぎず優しい味という方言)!

田村義孝さん

その他おすすめ  
黒め塩ばーろは、三崎名物海産物とお菓子のコラボ(100g・520円)

**なぜに菓子屋が多い!? なぜに赤あん!?**

昔は今よりさらに菓子屋が多く、1集落に5~6軒あったとか。しかし、「ぜいたくは敵」とされた店が多いのではということ。赤あんは「縁起物」として人気になり、それぞれ住民のニーズに答えてきた。

「縁起物といふことがあるかも赤あんは縁起物」

昔はみんな重労働やったけん、甘いものが重宝されたんやろね。お菓子屋さんだけではなく、家庭でも「いも飴」なんかを農作業の合間につくりよったね。

佐田岬裂織り保存会 小林文夫さん